

この記事の内容を詳しく調査し、以下の点について詳細な情報を提供します。

- **Equinox の AI 機能の詳細:** どのような AI 技術が使われ、具体的な機能や利点は何か。
- **Questel 社の背景や市場での位置づけ:** 会社の沿革、競合他社との比較、市場での評価。
- **AI による IP 管理のメリットと影響:** 従来の方法と比較した場合の効率化の度合いや業界への影響。
- **競合他社との比較:** 他の IP 管理ソフトとの違いや優位性。
- **具体的な導入事例や実績:** どの企業や法律事務所が利用しているのか、導入後の成果。

この情報をまとめ、詳細なレポートを作成します。調査が完了次第、お知らせします。

Equinox の AI 機能の詳細

Questel 社の提供する IP 管理システム「Equinox」は、業界初の AI 搭載 IP 管理ソフトウェア (IPMS) として位置づけられています ([Questel - Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#))。Equinox には特許・商標業務を支援する様々な AI 技術が統合されており、機械学習 (ML) や自然言語処理 (NLP)、大規模言語モデル (LLM) などの先端技術が活用されています ([Artificial Intelligence and Intellectual Property - Questel](#)) ([AI Patent Drafting Software - Questel](#))。これにより、従来は手作業に頼っていた知的財産管理の各プロセスを自動化・効率化し、ユーザーに高精度かつ高速なサービスを提供します。

- **特許ドラフト支援:** Equinox は特許明細書の自動ドラフト機能を備えており、発明のクレームツリーや発明開示資料をアップロードすると、数分で明細書の初稿を生成します ([AI Patent Drafting Software - Questel](#))。このドラフト生成には高度な自然言語生成 (NLG) と機械学習が使われており、特許事務所のノウハウと LLM を組み合わせたハイブリッド AI モデルによって高品質なテキスト案を提示します ([AI Patent Drafting Software - Questel](#))。各セクション (背景、要約、詳細な説明など) ごとに専用の AI モデルが用いられ、タイトルや要約、課題の抽出などを自動生成します ([AI Patent Drafting Software - Questel](#))。ユーザーは提案された文章を確認・編集し、不足部分の追記や代

替表現の選択が可能です。また**「Express モード」(即時一括生成)と「Interactive モード」(ユーザーが確認しながら段階的に生成)の 2 通りでドラフト作成が行えます ([AI Patent Drafting Software – Questel](#))。その結果、特許出願書類の作成時間を最大で 40%短縮**でき、審査官からの拒絶理由につながる記載漏れや不備を事前に検出・修正することで、出願プロセス全体の効率と品質が向上します ([AI Patent Drafting Software – Questel](#)) ([AI Patent Drafting Software – Questel](#))。

([AI Patent Drafting Software – Questel](#)) 特許ドラフト支援機能の画面例(Equinox の Generation Admin Panel)。「Express」と「Interactive」のモードを切り替えながら、明細書の各セクション(タイトル、技術分野、背景、要約、図面の説明、詳細な説明など)を AI で自動生成し編集できる ([AI Patent Drafting Software – Questel](#))。右側にはクラス分類や再生成ボタンがあり、AI によるドラフト提案を何度も試行できる。

- **商標検索・クリアランス:** Equinox は商標調査・監視にも AI を活用しています。画像・テキストの類似性検索においては機械学習による予測 AI(Predictive AI)技術を搭載し、入力した単語や画像に対して高精度に類似商標を検索します ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。たとえば、商標出願前のクリアランス調査では、ブランド名やロゴ画像を入力するだけで既存の登録商標との視覚的・語感的な類似度を判定し、潜在的な抵触リスクを素早く洗い出せます。検索結果では、入力画像から特徴部分を自動抽出して比較検討できるため、調査担当者のレビュー負荷を軽減します ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。さらに将来的な機能として、生成 AI により新たなロゴデザイン案を提案したり、AI アシスタントが商標の監視(ウォッチ)業務を自動化して模倣品や侵害の兆候を検出することも計画されています ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。これらにより、商標調査に要する時間を劇的に短縮し(「レコードタイム」での調査が可能になると報じられています ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anauqa IP Management Software and Services](#)))、企業のブランド保護を強化することができます。
- **ポートフォリオ分析・IP 管理:** Equinox は単なる案件管理に留まらず、蓄積した知財データを分析し戦略立案に活かすポートフォリオ分析機能も備えています。特許・商標をはじめ様々な IP 資産の状況をダッシュボードで可視化し、出願件数の推移や保有特許の技術分野分布などを分析できるため、ポートフォリオの全体像把握と戦略的意思決定に役立ちます ([IP Management Software – Intellectual Property Software – Questel](#))。また Equinox はデータ連携と自動化にも優れており、各国特許庁のデータベースと接続して出願データの検

証や期限管理を自動化します ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))。例えば、特許や商標の公式書誌情報と自社データを照合し、出願日・期限日などに齟齬がないか AI が自動チェックするため、人的ミスを大幅に減らせます ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))。重複入力や二重管理の解消(“Double docketing”問題の削減)や、書類・メールの大量処理の自動化にも取り組んでおり、将来的には AI によるデータ検証・監査・レポート作成まで視野に入れて開発が進められています ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。ユーザーにとっては、ポートフォリオ管理に費やす手間が減るだけでなく、自社の知財活動の傾向や費用対効果をリアルタイムに把握できるメリットがあります。実際、Equinox Corporate(企業向け版)では特許庁公式記録とのデータ自動突合によって期限管理の精度と信頼性を高め、年金管理や更新手続の自動化により知財部門の負担軽減と効率向上を実現しています ([IP Management Software – Intellectual Property Software – Questel](#))。これらの AI/自動化機能により、IP 管理担当者は戦略策定や意思決定などの付加価値の高い業務に注力できるようになります。

以上のように、Equinox は特許出願書類の作成から商標クリアランス、日々の案件管理に至るまで、知財業務の各所に AI を取り入れています。ユーザーにとっての具体的利点は、業務時間の大幅短縮とヒューマンエラーの削減、そして業務品質の向上です。例えば特許ドラフトでは出願書類作成時間の短縮(最大 40%短縮 ([AI Patent Drafting Software – Questel](#)))だけでなく、AI による校正で拒絶リスクの低減が期待できます。また商標調査では、従来数日かかっていた類否判断を短時間で網羅的に行え、見落としのない調査が可能となります。ポートフォリオ管理では、期限管理のミス防止やレポート自動化によりコンプライアンス強化と意思決定の迅速化が図れます ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))。さらに Equinox はクラウドベースで提供されるため、追加の IT リソースやセットアップを必要とせずに導入でき、AI 機能も含め即座に効率化の効果を享受できる点もユーザーにとって大きなメリットです ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。総じて、Equinox の AI 機能は知財業務の生産性と精度を飛躍的に高め、知財部門・法律事務所の戦略的価値創出を支援するものとなっています。

Questel 社の背景と市場での位置づけ

Questel(クエステル)社は、Equinox を提供するフランス発のグローバル知財ソリューション企業です。1978 年にフランス電電公社(現 Orange S.A.)の子会社として設立され、2001 年に独立して以降、特許情報検索や IP 管理を中心に事業を展開してきまし

た ([History - Questel](#))。長年にわたり積極的な買収戦略と技術革新を続けた結果、現在では欧米やアジアに拠点を構え、1,700 名以上の従業員を擁するまでに成長しています ([History - Questel](#))。同社は特許検索データベース「Orbit」や翻訳・年金管理サービスなど、多岐にわたる知財関連ソリューションを提供しており、**知的財産、イノベーション、リーガルテック分野の世界的リーダー企業**と位置付けられています ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。

特に近年の Questel は「**エンドツーエンドの統合 IP ソリューション**」戦略を掲げ、2018 年以降 5 年間で 20 社以上の専門企業を次々に買収して自社サービスに取り込んできました ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。その中には、知財管理ソフトの Equinox 社 (英国) や商標調査 AI の Markify 社、特許解析の Orbit 社、AI 特許ドラフトの Qatent 社 ([History - Questel](#)) などが含まれます。これらの買収によって、Questel は**発明の創出から権利化、維持管理、係争対応まで知財ライフサイクルの全段階を一社でカバーできる統合プラットフォームを構築**しました ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。Equinox はそうした統合戦略の中心となる IP 管理システムであり、特許・商標・意匠などあらゆる種類の**知的財産権を一元管理**できる点が差別化ポイントです ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。さらに企業向けの Equinox Corporate+ では基盤に Salesforce を採用し、他の社内システムとの連携や拡張性にも優れるなど、現代的なアーキテクチャを備えています ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。

市場における Questel の存在感は非常に大きく、**IP 管理ソフトウェア市場のトップレイヤー**の一角を占めます。世界中で 20,000 社以上の顧客と 150 万ユーザーにサービスを提供しており ([Equinox has joined Questel!](#))、2024 年には IPMS (知財管理システム) の顧客数が 1,000 社を突破したと発表されています ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。これは競合他社と比べても遜色ない規模であり、特に**中堅規模の企業や事務所 (ミッドマーケット) 層**で強みを発揮している点が特徴です ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。Questel 自身も「**業界で最もコネクテッド (連携性の高い) IP 管理システム**」を構築したと謳っており ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))、特許データや年金管理サービス、ビジネスインテリジェンスを IPMS に直接統合することで高いパフォーマンスと利便性を実現しています ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。また**「業界初の AI 搭載 IPMS」**として Equinox を位置づけ、いち早く AI 機能を取り入れた点も市場での差別化要因です ([Questel - Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#))。

主要な競合他社としては、米国拠点の **Anaqua 社** や、イギリス・米国にまたがる **Clarivate 社** (元 Thomson Reuters 知財部門)、そして **Denemeyer 社** などが挙げら

れます ([Exclusive: Astorg considers sale of IP software firm Anaqua, sources say | Reuters](#))。Anaqua や Clarivate もグローバルに展開する大手であり、近年は Questel と同様に買収による機能拡充や AI 技術の導入を進めています。しかし Questel は欧州発である強みから欧州市場に強固な基盤を持ち、加えて前述のように包括的サービス提供のための企業買収を加速させたことで**製品・サービスの統合度**では一歩リードしているとの評価があります ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。例えば Clarivate は 2020 年に業界最大手の CPA Global 社を買収し特許年金や IPMS (Memotech、Inprotech など) 分野で存在感を示していますが、Questel はそれに対抗して特許検索 (Orbit) や年金管理、翻訳、さらに Equinox IPMS まで自前で抱える体制を築いており、ワンストップソリューションの完成度で差別化しています。加えて、Questel は AI 分野のスタートアップとも積極的に提携し、最新技術の取り込みに敏捷です (例: 2023 年にスイスの ipQuants 社と提携し、特許審査応答プロセスの AI 支援を強化 ([Questel – Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#)) ([Questel – Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#)))。総じて、Questel 社は伝統ある知財情報企業の信頼性と、スタートアップ的な技術革新の両面を持ち合わせており、IP 管理ソフト市場で独自のポジションを築いています。

AI による IP 管理のメリットと業界への影響

AI 導入が知財管理業務にもたらすメリットは極めて大きく、業界全体の働き方を変えつつあります。まず、**業務効率の飛躍的向上**が挙げられます。従来、人手に頼っていた特許調査・明細書作成・期限管理などの作業を AI が自動化することで、処理速度が格段に上がります。例えば前述の特許ドラフト自動化では作成時間が最大 40% 短縮されると報告されており ([AI Patent Drafting Software – Questel](#))、商標の類否検索も AI 活用で「秒単位」で完了し得るとされています ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anaqua IP Management Software and Services](#))。また、Gartner 社の予測によれば **2024 年までに法務業務の 50% が自動化される見通し**であり ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))、知財分野もその例外ではありません。煩雑なルーチンワークを AI に任せることで、弁理士や特許担当者はより高度な判断業務や戦略立案に時間を充てることが可能になります。

コスト削減効果も具体的なメリットです。AI が業務を代替・支援することで、人件費や外注費用の節減につながります。ゴールドマン・サックスのレポートでは「法律業務の現在のタスクの約半分は AI で代替可能」とされ ([Three AI Trends in Intellectual](#)

[Property – Anaqua IP Management Software and Services](#))、これは知財管理の領域でも、特許調査や文書作成などに要していたコストの大幅圧縮につながる可能性を示唆しています。実際、特許事務所や企業知財部が AI ドラフトを導入すれば、明細書作成を外部の代理人に依頼する頻度を減らし、その分の費用を削減できます。また、AI による期限管理ミスの防止は高額の延長料や権利喪失リスクによる損失回避という形のコスト効果もあります ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))。さらに、IP ポートフォリオの分析に AI を用いることで権利の棚卸や休眠特許の発見が容易になり、不要な維持費用の見直し(ポートフォリオの最適化)によるコスト削減も期待できます。ある調査では、特許出願にかかる費用増大(USPTO の料金 5%引き上げ計画)への対策として企業は AI 活用による効率化にますます注目しているとの指摘もあります ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anaqua IP Management Software and Services](#))。このように、AI は知財関連コストの低減に多方面から寄与します。

業務品質の向上とリスク低減も重要なメリットです。AI は大量のデータを精緻に扱えるため、人手では見逃しがちなリスクやトレンドを検出できます。例えば、出願前の特許調査では、AI が広範な特許データベースから類似技術文献を漏れなく探し出すため、新規性・進歩性の評価精度が高まります ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。また特許出願書類の自動チェックでは、クレームの参照漏れや用語不統一といったオフィスアクションの原因となるエラーを事前に指摘でき ([AI Patent Drafting Software – Questel](#))、権利化プロセスを円滑にします。商標管理では AI 監視によりインターネット上の模倣品や類似商標の早期発見が可能となり、ブランド侵害への迅速な対処が実現します ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。期限管理でも、AI の自動リマインドと官庁データ照合によりミスなく期限を遵守でき ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#))、権利維持の信頼性が飛躍的に高まります。このように AI 活用はヒューマンエラーの低減とサービス品質・コンプライアンスの向上をもたらし、依頼人や社内からの信頼性向上にも直結します。

これらの効率化・コスト削減・品質向上の効果により、知財業界全体にも大きな影響が現れています。まず特許事務所や法律事務所の業務形態が変わりつつあります。ルーチンワークが短縮されることで、従来は多数のスタッフで手分けしていた作業をより少人数で処理できるようになり、事務所の経営効率が上がります。一方で、AI を使いこなすためにスタッフには IT リテラシーやデータ分析力が求められるようになり、弁理士・パラリーガルの役割も高度化しています。企業の知財部門にとっても、AI によって知財業務の内製化が進む可能性があります ([“Intuitive” Equinox helps Sano manage its IP portfolio | Equinox](#))。例えば以前は特許事務所に外注していた調査・分

析業務を社内で AI ツールを用いて行うことで、コストを抑えつつ機密情報を社内に留められる利点があります ([“Intuitive” Equinox helps Sano manage its IP portfolio | Equinox](#))。特許庁など公的機関にも影響は及んでおり、出願人側がより高品質な明細書や先行技術調査結果を提出できるようになるため、審査の効率や質が向上する期待があります。さらに AI による機械翻訳の精度向上は、各国特許庁が多言語出願を処理する上での言語障壁を下げるなど、国際的な特許制度運用にもプラスに働いています ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#))。

もともと、AI 活用の拡大は同時に**新たな課題や競争**も生んでいます。各社の IP 管理ソフトが競って AI 機能を実装する中で、その精度や使い勝手が選択の鍵となり、ユーザー企業・事務所側も最適なツール選定を迫られています。また、AI による自動化が進むほど人間による**チェック体制**の重要性も指摘されており、最終判断や創造的思考は依然として専門家に委ねられます。業界団体や特許庁も、AI 生成物の取り扱い(例えば AI が書いた明細書の著作権や、調査精度の検証方法)など、新しいルール整備に取り組み始めています。総じて言えば、AI の導入は知財管理における生産性革命とも言える変化をもたらしており、**効率と品質の両立**というメリットを享受しつつ、その恩恵を最大化するための人材育成や制度整備が業界全体の課題となっています。

競合他社との比較

Equinox と同様に知財管理ソフト市場には複数の主要プレイヤーが存在し、それぞれ特徴ある機能を提供しています。ここでは **Denemeyer 社**、**Anaqua 社**、**Clarivate 社** のソリューションと比較しながら、Equinox の優位性や独自性を整理します。

- **Denemeyer(デンネマイヤー)社**: ドイツ発祥でグローバル展開する知財サービス企業で、**DIAMS iQ** という IP 管理システムを提供しています。Denemeyer はもともと特許年金管理などのサービスで知られますが、ソフト面でも近年力を入れており、特に特許検索・分析では **Octimine** という AI プラットフォームを有しています。Octimine は**最先端のセマンティック検索 AI**により直感的な特許検索・可視化を可能にしており、ユーザーが専門知識無しでも関連特許を高速に抽出・分析できる点が売りです ([Discover the Power of Octimine AI Patent Analysis | Denemeyer.com](#)) ([Discover the Power of Octimine AI Patent Analysis | Denemeyer.com](#))。しかし Denemeyer の IPMS(DIAMS)はどちらかと言えば**基本的な案件管理機能の堅実さ**を重視しており、Equinox のように生成 AI を使ったドラフト機能などはまだ限定的です。一方、

Denemeyer は**自社が特許法律事務所でもある**という強みを生かし、実務に即した国別法令(デッドライン計算ルール)の網羅性や、ワークフローと CRM (顧客関係管理)の統合といった面で高い評価を受けています ([DIAMS | IP Management Software Solutions – Denemeyer.com](#))。コスト面では Equinox と同程度かやや低廉とも言われ、基本機能を安定して使いたいユーザーに支持されています(※あるユーザーからは「Equinox は安価で柔軟、Anaqua はその逆」との声もあります ([Can anyone help me find a good and cheap IP Management Software? : r/Patents](#)))。Equinox との比較では、AI 活用の深さとサービス統合度で Equinox が勝る一方、DIAMS はシンプルで堅牢な IPMS として根強い利用者層を持つと言えます。

- **Anaqua(アナクア)社:** 米国ボストンに本社を置く Anaqua は、世界的大手の IP 管理ソフト企業で、AQX(Anaqua の統合プラットフォーム)を提供しています。Anaqua の特徴は、特許・商標管理機能に加えて発明提案管理(アイデアマネジメント)や契約管理まで含めた包括的な知財エコシステムを構築している点です。例えば、ideaPoint 等のモジュールで社内発明発掘から特許出願指示まで一貫してサポートし、また知財分析では AcclaimIP(買収により取得)というデータ解析ツールを統合しています。AI 活用にも注力しており、近年はジェネレーティブ AI を用いた機能強化を進めています。Anaqua の発表によれば、特許クレームや要約を入力すると AI が要約を作成し、クレーム比較や Office Action(拒絶理由通知)へのドラフト応答を支援する機能を実装中とのことです ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anaqua IP Management Software and Services](#))。また商標検索においても AI で効率化を図り「記録的な速さ」での調査が可能になるとしています ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anaqua IP Management Software and Services](#))。これは Equinox の特許ドラフト機能に匹敵する最先端事例であり、Anaqua もまた AI 統合において先頭を走る企業の一つです。もっとも、Anaqua 製品は非常に多機能である反面、システムが大規模になりがちで、ユーザー企業のニーズによっては過剰な場合もあります。導入・運用コストが高めとの指摘もあり、中小規模の事務所にはハードルが高いとされます ([Can anyone help me find a good and cheap IP Management Software? : r/Patents](#))。その点、Equinox は機能のモジュール化と柔軟なカスタマイズ性で、小規模事務所から大企業までスケールアップに対応できる利点があります ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。実際、Equinox は Law Firm 向けと Corporate 向けに製品ラインナップを分け、必要な機能を選択的に組み込めるため、ユーザーにとって「ちょうど良い」システムを構築しやすいと言えます ([IP Management Software – Intellectual Property Software – Questel](#)) ([IP](#)

[Management Software – Intellectual Property Software – Questel](#))。総じて、Anaqua は機能網羅性では突出するものの、Equinox は**使い勝手とコスト効率のバランス**で優れており、特に幅広い顧客層への適合性で差別化しています。

- **Clarivate(クラリベイト)社**: Clarivate は米英に拠点を持つ情報サービス大手で、知財分野では **Derwent** 特許データベースや商標調査サービス (CompuMark)、そして IP 管理システムでは **FoundationIP**、**IPfolio**、**Memotech**、**Inprotech** など複数の製品ラインを有します。2020 年に特許年金・管理最大手の CPA Global を買収したことで、一躍 IPMS 市場でもトップクラスの存在となりました。Clarivate の強みは、膨大な特許・論文データや商標データを背景に、**データ駆動型の高度な分析機能**を提供できる点です。また、Clarivate 傘下の IPfolio は Salesforce プラットフォーム上で動作する IPMS で、Equinox Corporate+と同じく既存システムとの連携や UI の柔軟な構成が可能です ([Top 10 Questel Alternatives & Competitors in 2025 | G2](#))。AI 活用に関しても Clarivate は積極的で、例えば**機械学習による特許費用予測ツール**を提供しており、過去の請求書データから将来の知財維持コストを高精度に予測して予算管理に活かせるとしています ([PowerPoint Presentation](#))。さらに特許調査では Derwent の高品質なデータと AI 検索アルゴリズムを組み合わせ、効率と網羅性を高めています ([PowerPoint Presentation](#)) ([PowerPoint Presentation](#))。Equinox との比較では、Clarivate は**データ資源の豊富さと総合情報サービス企業としての信頼性が武器**ですが、一方で製品が細分化されており統合が課題とも言われます。Equinox は単一の統合スイートで多様な機能を提供するのに対し、Clarivate では用途に応じて別製品 (例えばポートフォリオ管理には Memotech、商標管理には Trademark Insight 等) を組み合わせる必要がある場合があります。Questel は「業界で最も統合された IPMS」を標榜しているように ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))、**ワンプラットフォーム上でシームレスに業務を完結できる体験**を重視している点で Clarivate 製品と一線を画します。また AI についても、Clarivate が段階的に各製品へ組み込んでいるのに対し、Equinox はリリース当初から「AI ファースト」の設計思想で作られている点が独自性と言えます ([Questel – Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#))。したがって、**データ重視の Clarivate、機能網羅の Anaqua、サービス一体型の Questel(Equinox)** という構図でそれぞれ差別化が図られており、Equinox は後発ながらも統合性と AI 活用で先行するユニークなポジションを確立しています。

具体的な導入事例や実績

Equinox は世界中の様々な企業・法律事務所に導入されており、その効果が実証されています。2024 年までに累計 1,000 社以上のユーザーが Equinox IPMS を採用しており ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))、その中には大手企業から中小規模の特許法律事務所まで幅広い組織が含まれます ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#))。以下、代表的な導入事例とユーザーから寄せられた声を紹介합니다。

- **Field Law(カナダ)** – カナダに拠点を置く総合法律事務所 Field Law は、知的財産業務にも Equinox を活用しています。同事務所のシニア特許代理人 Andrew Hicks 氏は「Equinox の導入によって当事務所のワークフロー効率が飛躍的に向上した」と評価しています ([Field Law case study | Equinox](#))。Equinox はアシスタント、弁護士、会計担当者まで全員が共通プラットフォーム上で業務を把握できる包括的システムであり、メールシステムや会計ソフトとのシームレスな統合によりタスク処理が大幅に効率化されたと述べています ([Field Law case study | Equinox](#))。実際、Equinox 上でカスタマイズしたテンプレート(プリシデント)に従いタスクを進めることで、各作業が非常にスムーズに完了するようになり、担当者全員が自分とチームのやるべきことを一目で把握できるようになったとのこと ([Field Law case study | Equinox](#))。特にメールの自動取込機能について「メール連携が素晴らしい。受信メールを案件にほぼシームレスに保存でき、不要なメールはフィルタできる柔軟性もある」と高く評価しています ([Field Law case study | Equinox](#))。加えて、「サポートも非常に迅速かつ的確で、事務所内の誰が問い合わせても丁寧に対応してくれる」 ([Field Law case study | Equinox](#)) と述べており、Equinox チームのサポート体制にも満足している様子です。Field Law のケースは、従来別個に管理していた業務(メール、期限、会計)を Equinox で一元化することで得られる効率化効果を示す好例と言えます。
- **GLMR(オーストラリア)** – 2021 年創業の独立系 IP ファーム GLMR は、急成長する中で Equinox を導入した事例です ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。同事務所の David Müller-Wiesner 弁理士は「優秀な所員たちは IPMS にも仕事の一部を担ってくれることを期待している。Equinox のモジュール式でアクセスしやすいデータ基盤を活用し、自動化できるプロセスは可能な限り自動化することで、チームは本当に価値を発揮できる業務に集中できている」と語っています ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。Equinox 導入により、繰り返し発生する事務作業を大幅に自動化できたため、所員がクライアントへの付加価値提供に専

念できるようになり、同時に「自動化できる作業に対して請求しないことで、料金に見合った価値を提供しているとクライアントに示しやすくなった」([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))とも述べています。具体的には、承認待ち業務の自動ワークフロー化や重要期限の優先度に応じたタスクのトリアージ(仕分け)が可能となり、繁忙期でも適切な優先順位で業務を回せるようになったとのこと([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。さらに案件状況を可視化する自動レポートとダッシュボードにより、イレギュラーな事態も見逃さずサービス水準を維持できているとしています([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。GLMR の事例は、新興の事務所が Equinox を活用して少人数でも高度なサービス提供を実現し、成長を支えたケースといえます。

- **Sano Development(英国)** – 英国の住宅開発系イノベーション企業 Sano 社は、自社の知財ポートフォリオ管理を外部委託から内製化する過程で Equinox を採用しました([“Intuitive” Equinox helps Sano manage its IP portfolio | Equinox](#))。同社の Richard Gover 氏らは「以前は特許事務所に依頼していたが、社内で管理する範囲を増やすにあたり、タスク管理や書類整理を容易にしてくれるシステムが必要だった。取引先の事務所が使っていた Equinox は我々にとっても好適な選択肢だった」と述べています([“Intuitive” Equinox helps Sano manage its IP portfolio | Equinox](#))。複数の IP 管理システムに触れてきた経験から Equinox を評価しており、操作の直観性(“Intuitive”な UI)や強力なドキュメント管理機能によって、自社内で特許・商標の管理・ライセンス業務をスムーズに行えているとしています([“Intuitive” Equinox helps Sano manage its IP portfolio | Equinox](#))。Sano 社は研究開発に注力する企業ですが、Equinox 導入により知財管理の負担が減り、本業のイノベーションに集中できる環境を整えています。このケースは、**企業ユーザーが外部任せだった知財管理を Equinox で自前管理に転換し、効率化とコスト削減を達成した例**といえます。

この他にも、欧米やアジアの多数の法律事務所・企業が Equinox を活用しています。Questel 社によれば、顧客にはヨーロッパ、中東、アジア太平洋地域の組織も多く含まれ、24 時間体制のサポートによって地域を超えたサービス提供がなされています([Field Law case study | Equinox](#)) ([Field Law case study | Equinox](#))。導入企業の中には、Equinox の高度なカスタマイズ性を活かして自社業務フローに合わせた設定を行い、定型作業の自動化や社内他部署とのデータ連携を実現している例もあります([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。たとえば、会計ソフトの Xero と Equinox を統合し、財務データと知財データをリアルタイムに突合・管

理しているユーザーもあり、「もし Xero 連携が無かったら財務管理が非常に面倒になっていただろう。Equinox と銀行口座のデータが同期していることで安心感が得られる」との声もあります ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。このように Equinox はユーザーの運用ニーズに柔軟に応えることで高い満足度を引き出しており、**「業務が楽になりストレスが減った」「チーム全体の生産性が上がった」**といった肯定的な評価が数多く寄せられています ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#)) ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))。

総括すると、Equinox の導入事例からは、小規模事務所の飛躍的な効率化、成長企業のスケーラブルな運用支援、企業知財部の内製化促進といった多様な効果が確認できます。ユーザーの声は Equinox の有用性を裏付けており、AI と統合システムによる知財管理の進化が実際の現場で成果を上げていることを示しています。

Sources: ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#)) ([AI Patent Drafting Software – Questel](#)) ([AI Patent Drafting Software – Questel](#)) ([Artificial Intelligence and Intellectual Property – Questel](#)) ([Three AI Trends in Intellectual Property – Anaqua IP Management Software and Services](#)) ([IP management with Equinox Corporate+ – Questel](#)) ([IP Management Software – Intellectual Property Software – Questel](#)) ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#)) ([Questel – Intellectual Property, Innovation and Legal Management](#)) ([Exclusive: Astorg considers sale of IP software firm Anaqua, sources say | Reuters](#)) ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#)) ([Questel surpasses 1,000 IPMS clients](#)) ([Field Law case study | Equinox](#)) ([How Equinox has supported GLMR through rapid growth | Equinox](#))など